

最優秀賞は映画『とんび』を支援した岡山県フィルムコミッション協議会！

第9回 JFC アワード受賞式 オフィシャルレポート



平素よりお世話になっております。

特定非営利活動法人ジャパン・フィルム・コミッション(JFC)は、このたび第9回 JFC アワード授賞式を、6月21日(水)に浜松市(ホテルコンコルド浜松/静岡県浜松市中区元城 109-18)にて開催いたしました。

JFC アワード授賞式は、例年 JFC 通常総会と併催で、全国各地で開催しており、今年は静岡県・浜松市において、全国のフィルムコミッションや自治体関係者など約80名を迎えて開催いたしました。

今年度は特に、作品の規模にかかわらず、地域と密に連携をとることで、戦略的なプロモーションや、撮影支援を展開することができていたFCが受賞の結果につながりました。また、JFC アワード設立以来初めて、配信ドラマが受賞。5つの受賞作品のうち、2つが配信ドラマとなり、これまでプロモーション展開が難しかった配信作品の制作者とも関係をうまく構築されていることが分かる年となりました。

JFC アワードは、全国各地で優れたロケーション資源の開発や市民と一体となった撮影支援、映像作品の活用による地域活性化に向けて日々奔走するFC等を表彰するもので、今回で9回目を迎えます。今や、映像撮影になくてはならない存在となったFC活動は、普段見えづらいものではありませんが、これを機にFCの取り組みや活動意義を広く国民に知ってもらうことで、撮影への理解・協力を促進するとともに、さらなる撮影環境の向上や地域の活性化に繋がると考えております。

<前列左から>伊勢志摩FC 天白氏、広島FC 西崎氏、旭川地域FC 森崎氏、岡山県FC 協議会妹尾氏、神戸FO 待鳥氏、大阪FC 松崎氏
後列左から>泉谷理事長、札幌FC 佐藤氏、なごやLN 加藤氏、富山県LO 高瀬氏、同山口氏、北九州FC 上田氏、東京LB 遠藤氏

第9回 JFC アワード

ノミネートされた11団体の中から、最優秀賞1団体、優秀賞4団体が決定！

【最優秀賞】

岡山県フィルムコミッション協議会(『とんび』)

【受賞理由】

作品と作り手をよく理解した上で地域との調整にかかる時間も厭わず、FCとして丁寧に作品を支援したことが窺えた。作品性とFCとして求めるものをバランス良く置きながら、支援を行っている様子は、類稀な経験と映画愛、地域愛によるものだった。観光スポットとしてだけでなく、地域の人々の交流を活性化し、観光客0から、キャストの招聘等により1万5千人の誘客につなげたという映画を通した町おこしを成功させた点が評価された。

【優秀賞①】

神戸フィルムオフィス他(ドラマ「今際の国のアリス シーズン2」)

【受賞理由】

課題であった配信系作品のプロモーションについて、FCが連携して交渉にあたり、地域活性化につながるプロモーションを実現させていた。今後の配信系作品のプロモーションに対して一つの指針となったという意見もあがった。また、ロケーションは国内各地にわたり、FCとして広域で連携し、ロケ地マップをはじめ様々なPRを行った点が評価につながった。

※(東京ロケーションボックス、富山県ロケーションオフィス、富山フィルムコミッション、なごや・ロケーション・ナビ、愛知県フィルムコミッション協議会、大阪フィルム・カウンスル、北九州フィルム・コミッション、神戸フィルムオフィス)の計8団体の広域連携として応募

【優秀賞②】

広島フィルム・コミッション(『こちらあみ子』)

【受賞理由】

作品・作り手を共に理解した上で、かかる時間も厭わず、丁寧に作り上げている。作品性と FC として求めるものをバランス良く置きながら、支援を行っている様子は、類稀な経験と映画愛、地域愛によるものと言える。また、多くの参加者による地元オーディションを実施し、地元の皆さんの作品への関心と撮影への協力意識を向上させたことや、海外映画祭での上映の機会を活かし、広島映画の認知度を上げるとともに、作品及び若手映画監督の海外プロモーションに尽力したことが評価につながった。

【優秀賞③】

旭川地域フィルムコミッション、札幌フィルムコミッション(ドラマ「First Love 初恋」)

【受賞理由】

ロケ地としての魅力は、その場所ではなく、そこにあるストーリーであると作品を通して感じさせた。ロケ地マップの広域配布の取組をきっかけに、Netflix 側がプロモーション効果に共感し、その後の作品のプロモーションにも理解を持つようになったという変容は、本作だけでなく今後の作品への将来にもつながる取り組みとなったことが評価された。

【優秀賞④】

伊勢志摩フィルムコミッション(『ニワトリ☆フェニックス』)

【受賞理由】

事前の撮影誘致、支援、そしてシティプロモーション、地域の巻き込みなど全てにおいてしっかりと線で結び、支援して終わりとならぬよう、組み立てていた。メディアの露出にもつながったロケ地でのドライブインシアターの実施は面白く、また観光や食に関わる事業者と連携し、地域ぐるみでの PR 活動を実施したことで地域活性化に繋がった点が評価された。

〈総評〉 特定非営利活動法人ジャパン・フィルムコミッション理事長 泉谷昇

今年度も様々な支援作品と共に支援内容が紹介され、FC が地域と密に連携してオリジナルのプロモーションを展開していたことに感銘をうけた。受賞作はいずれも、ロケ支援に向けた取り組みとして、エキストラの募集、美術装飾の手配等にきめ細やかな取り組みに加え、プロモーションについても戦略的に立てており、WEB や紙媒体に加えイベント等地元を巻き込んだ展開が出来ていた。

地域との関係性は一日では構築できず、日々の積み重ねの賜物と思うと FC の存在意義などが着実に浸透していると感じている。

フィルム・コミッションはもはや、撮影の誘致支援だけにとどまらず、公開時の話題づくりから誘客促進、経済活動まで幅広く効果や結果を出している。このアワードの発表により更なるフィルム・コミッション活動の発展と、映像文化、映像産業、ひいては観光・地域振興に繋がると期待する。

【第9回 JFC アワード授賞式の概要】

(1) 日時 令和5年6月21日(水)

(2) 会場 ホテルコンコルド浜松(静岡県浜松市中区元城 109-18)

(3) 選定対象:

最優秀賞・優秀賞: 令和4年度(2022.4~2023.3)公開または放映の「映像作品※1」を支援した「地域 FC 等※2」

※1: 映像作品には映画、ドラマ、CM、音楽プロモーションビデオを含む

※2: 地域 FC 等には、フィルムコミッション、ロケ支援団体、地方自治体、協議会等も含む

(4) 選考項目

- ① 素晴らしいロケーションを発掘した FC
- ② 大規模撮影やこれまでにない工夫を実現した FC
- ③ 支援作品を地域の PR にうまく活用した FC
- ④ 支援作品を地域のまちづくりにうまく活用した FC

(5) 選考方法

- ① 各地から自薦・他薦により候補 FC を募集
- ② 上記選考項目に関して JFC 会員による投票を経て、地域 FC の代表、業界関係団体の代表、および有識者からなる JFC 理事会において選考

【ジャパン・フィルムコミッション(JFC)とは?】

全国の FC やロケ支援団体並びに製作関係団体・個人など約 150 の会員からなる日本で唯一の映像支援団体のネットワーク組織で、日本の撮影環境の発展と地域振興を目的に、国内外の映画・映像作品の製作支援をはじめ、FC 等の人材育成支援、映像産業の振興、映像文化の普及、文化観光の振興、地域資源の評価などの資する事業等を行う組織です。

＜本件に関するお問い合わせ先＞

特定非営利活動法人 ジャパン・フィルムコミッション 担当: 関根

Tel: 03-6264-2042 Fax: 03-6264-2043 E-mail: jfc@japanfc.org